

研究課題名	周産期大量出血例における疾患別凝固・線溶系の特徴についての検討
研究の意義・目的	妊娠・分娩に伴う大量出血は、例えば、子宮の収縮不全による弛緩出血と、常位胎盤早期剥離とではその出血機序が異なるだけでなく、その治療法も大きく異なります。本研究では大量出血の原因となり得る様々な疾患における臨床データをもとに、血液学的な特徴と差異を明らかにして、将来的には治療に役立てることを目指します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2021年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011年4月～2021年3月に大阪市立大学医学部附属病院の女性診療科で、周産期大量出血のため輸血療法を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT・MRI・超音波画像、妊娠方法、分娩履歴、分娩内容、出血量、輸血量、治療法】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者：橋 大介
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 (担当者氏名) 橋 大介 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：obandg@med.osaka-cu.ac.jp